エクサバイト規模のストレージシステムへ向けて

高エネルギー加速器研究機構
計算科学センター

佐々木　節

アブストラクト

高エネルギー加速器研究機構では、KEKB加速器を用いたBelle実験でB中間子のCP対称性の破れの研究を行い、小林-益川両先生のノーベル賞につながった。加速器をさらに高度化した Super KEKB加速器を用い、2014年度から、Belle II実験を開始する予定である。これまでの100倍近いビーム強度になることから、データ量も大幅 に増え、将来的にはエクサバイトのデータを蓄積する予定である。これまでにない大量データを蓄積し処理するための取り組みについて、紹介する。

講演者プロフィール

♦ 略歴

1992 年	新潟大学自然科学研究科修了　理学(博士)
1992 年	高エネルギー物理学研究所　研究員
1993 年	高エネルギー物理学研究所　助手
2003 年	高エネルギー加速器研究機構　助教授
2007 年	高エネルギー加速器研究機構　教授

♦ 研究分野、研究テーマ

放射線シミュレータの開発とその医学応用、　分散コンピューティング